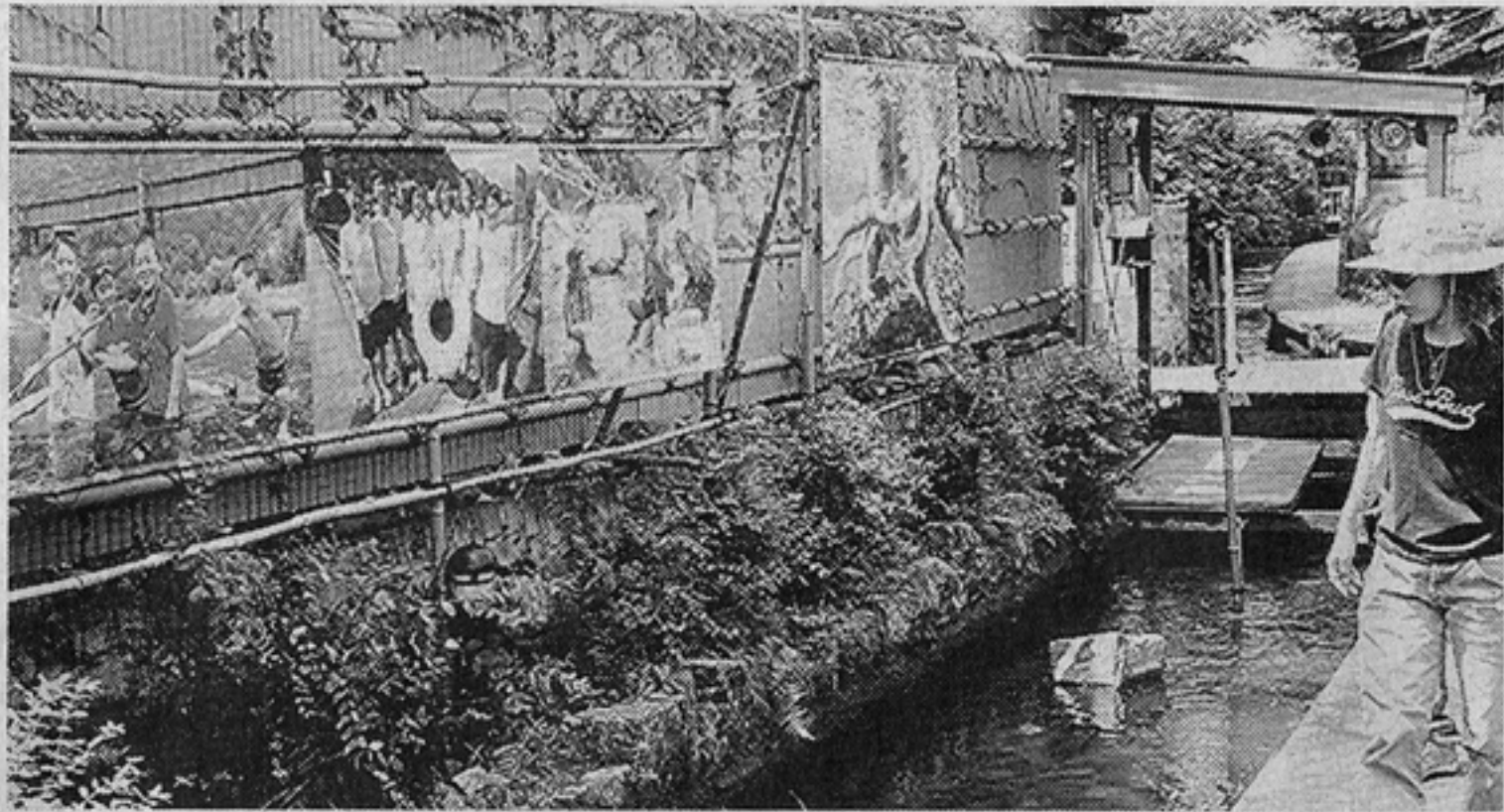


「川ガキ」の笑顔13点

八幡



川に親しむ子どもたちの笑顔あふれる野外写真展―郡上市八幡町の「いがわの小径」で

写真家・村山さん

郡上市八幡町内を流れる生活用水路、通称「いがわの小径」で、写真家村山嘉昭さん(三三)＝東京都北区＝が、全国各地の川で戯れる子どもたちの姿を写した「川ガキ 野外写真展」を開いている。二十二日まで。(林 康雄)

「いがわの小径」に展示

雑誌社の写真部勤務な

て飾った。どを経て現在、自然や人をテーマに撮影を続けてスイカを食べたりと、どいる村山さん。「川ガキ」の作品も子どもたちの「キ」を被写体にするよう顔でいっぱい。

になって六年目になると村山さんは「今では珍しい光景になった川遊び

野外展では、同町の吉を身近に感じ、実際に楽田川や和良町の和良川をしんでももらえたら。そして、はじめ、徳島、熊本県で、川の変化にも気づ清流で撮影した十三枚き、大切に守っていいを、縦一・八枚、横一・うとする気持ちが多く三枚や縦〇・九枚、横三の人の胸に芽生えたら、六枚のポリエステル製の「うれい」と話している。布にそれぞれプリントする。